

第124回 医療技術者研修会

チェルノブイリ原発事故後の甲状腺癌検診の 経験と福島原発事故被災者に対する今後の対応

主催 財団法人東京保健会 病体生理研究所

1986年4月、旧ソ連、現ウクライナ共和国のチェルノブイリで大規模な原発事故が発生した。その放射能に汚染された隣国ベラルーシ共和国で小児甲状腺癌が急増した事はよく知られている。事故後25年以上を経過した現在、小児甲状腺癌は減少してきたものの、成人のそれはいまだに増加の一途をたどっている。一方、昨年3月の東日本大震災で発生した福島原発事故が、甲状腺癌発症に影響を与えるか否かは国内のみならず国際的にも注目されているところである。このような状況下で福島県では18歳以下の被災者38万人に対して生涯にわたる定期的検診がスタートしている。

我々は、チェルノブイリ医療支援ネットワークの行っている甲状腺癌検診にボランティアとして1999年から今日まで毎年参加してきた。そこでは、触診、問診、甲状腺超音波検査、穿刺吸引細胞診検査の実施と指導そして診断を行い、最近是我々の開発した甲状腺内視鏡手術を現地でい臨床的活動と指導もおこなっている。

本講演では、現地での活動内容と、これらの経験をもとに放射能の影響による甲状腺癌発症の機序、福島原発事故後が甲状腺癌発症に影響を与えるかなどに関する考えを述べるとともに、検診の中心となる甲状腺超音波検査および読影、またエコーガイド下穿刺吸引細胞診の有用性を示しつつその対応などにつき述べる。

【日時】2012年10月13日（土） 午後2時30分～4時15分

【会場】東医健保会館・4F第1会議室 【参加費】無料

【講師】清水 一雄 先生〔日本医科大学 内分泌外科 大学院教授〕

【定員】50名 （申込は先着順で締め切ります。あらかじめ御了解ください）

申し込み方法

- 1、下記の申込書にもれなく御記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込み下さい。
（※記入もれなど不備がある場合には、受講票が送付できなくなります。必ず全て御記入ください）
- 2、申込者あて開催日前までに受講票をFAXで送付します。当日必ずお持ち下さい。
- 3、締め切り後の申込者へは「締切済」通知をFAXで送付します。御了解ください。
※ ※ ※ 下記の全てにご記入のうえお申し込みください ※ ※ ※

2012年10月13日（土）「第124回 医療技術者研修会」受講申込書

勤務施設名	職 種	申込者氏名（フリガナも）
施設住所 〒（ ）		
TEL （ ） FAX （ ）		

申込先 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 47-11（財）東京保健会病体生理研究所 医療技術者研修企画係

問い合わせ用TEL 03(3956)4120

申し込み用FAX 03(3956)4102

講 師

しみず

かずお

清水 一雄 先生

日本医科大学 内分泌外科 大学院教授

略 歴
現 職等

1973年 日本医科大学卒業
1978年 〃 〃 大学院修了 医学博士
1980～82年 米国デューク大学留学
1989～90年 米国ハーバード大学およびワシントン大学留学
1999年 日本医科大学 第二外科 教授
2006年 〃 第二外科主任教授および内分泌外科部長
2012年 〃 大学院医学研究科内分泌外科 大学院教授

表彰受賞等

2011年 東京都医師会グループ研究賞「チェルノブイリ原発事故後の甲状腺癌に対する医療支援 - 福島原発事故後の対応を見据えて」等、研究への受賞多数

所属学会等

日本内分泌外科学会 日本内分泌学会 日本外科学会 日本甲状腺学会 日本内視鏡外科学会
始め多くの国内・国際学会に所属・活動し、日本甲状腺外科学会理事長を始め役員任務多数

会場案内図

東医健保会館 4F・第1会議室

（〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地）

〔電話〕 03(3353)4311（代表）

交通機関

JR 総武線・中央線「信濃町駅」から徒歩5分

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。

